



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

くろするる〜ど

2022/10月号 第275号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

〜サロン月間カレンダー10月〜

「みんなで逃げよう

防災ワークショップ」を開きました

コロナ感染の予防をしたうえで、学習会をはじめ
ほかの活動も実施します。変更がある場合は、追っ
てお知らせします。

生活情報支援部会会長 桑島 宗利

8月20日、市の防災危機管理課と協力して防災の
ための会を開きました。例年の外国人市民向け防災
講座は地震がメインでしたが、今年は市が水害被害
想定を大きく見直したこともあり①大型台風による
多摩川水害時の避難の手順(マイタイムライン)と②
地震や水害時の非常持ち出し袋について話し合
いました。参加者は26人、サロンの元学習者さんや市
の広報を見て初参加の方もいました。今回は、事前に
「避難の手順 マイタイムライン 英語版」と水害
警報「レベル2 レベル3 多言語版」を用意しま
した。「マイタイムライン英語版」はサロンの学習者
と生活情報支援部会が一緒に作り上げました。防災
危機管理課からは新しい水害マップと「避難所情報
アプリ VACAN(ばかん)」が紹介され、参加者が自分の
スマホ操作で学ぶことが出来ました。なお水害マッ
プは近々に多言語版も発行するとのことなので
「英語版 マイタイムライン」と「多言語版水害警報
レベル2と3」を折り込んで活用してもらえよう
話しています。非常持ち出し袋については、毎年
好評の企画ですが小物を包む風呂敷の活用とか、照
明は両手が使えるヘッドライトにしようという提案
などで盛り上がりました。

みなさんのご意見も聞かせてください。

■定例日本語学習会

日時：10月3日(月)～10月31日(月)
月(午前・午後) 水(午後) 金(午後・夜)
場所：サロン3階 会議室

■実行委員会～移転準備委員会

日時：10月12日(水) 午前10時～11時半
場所：サロン学習室
* 実行委員会に続いて11時半から移転準備委員会
を実施します。

■日本語教授法研修Ⅱ

日時：10月6・13・20・27日(毎木曜日)
午前10時～昼12時
場所：サロン学習室
講師：山田しげみ先生
(東京外大オープンアカデミー講師)

■音声講習会

日時：10月29日(土) 午後2時～4時
* 詳細は「みんなの広場」をご覧ください。

* 以上の件について、詳しいことはサロン事務局で
聞いてください。

世界の文化

「夏休みおもいでコンサート」

月曜午前ボランティア 野川 豊子

サロンは7月25日から8月31日まで夏休みでした。その間にも勉強したい学習者はボランティアと相談して事務所で勉強しました。1日7組という条件でしたが、夏休み中の合計は、学習者89名、ボランティア81名参加しました。

月曜午前部会にドイツから来ているJANさんがいました。自己紹介でギタリストだと言っていたので、声をかけました。「皆さんにあなたのギターを聞かせて下さいませんか」「はい いいですよ」うれしい返事でした。

6月に来た頃は日本語ではあまり話ができなかったのですが、夏休みに声をかけたら日本語で話せました。託児室での演奏では、勉強している仲間が15名くらい、ちょっと狭いので会議室をかりられないかと聞きましたら、お昼休み12時からかりることができました。

ところがもっと素晴らしいことが起こりました。金曜午後部会長さんが演奏に参加したいと言ってくれました。

まだ夏休み勉強中の仲間達はウキウキしてその日を待ちました。

8月29日に「夏休みおもいでコンサート」が始まりました。ドイツから里帰りしていた奥様、お嬢ちゃん、お義母さんと義理の妹さんも応援にきてくれました。

25名の参加者が、JANさんの演奏、漢人さんの演奏、そしてお二人の二重奏を聴き最高のコンサートになりました。目の前での演奏は素晴らしい、そしてJANさん自作の曲の演奏もありました。残念なことはサロンのみなさんにも聴いて欲しかったなと思いました。

もう一つうれしいお話がありました。お義母さん

から「JANさんとは身振り手振りでの話でしたが、楽しそうにサロンにかよひ勉強して今では日本語で会話が出来ます、ありがとうございます」ボランティアにとってはうれしい言葉でした。

すてきな「夏休みのおもいでコンサート」でした。



ヤンさん（左）と漢人さん



コンサートに集まったボランティアと学習者のみなさん



わたしのふるさと ~43~

わたしのふるさと 府中市新町

水曜ボランティア 小岩井 雅人

私は生まれてから60年ちょっとずっと府中市新町に住んでいます。正確に言えば大学時代5年間？兵庫県西宮市に住んでいたこともあります。

私が生まれた頃は家の回りは荷もなくあまりにも寂しいので番犬を飼っていました。家の窓から北の空を見ると国分寺駅の明かりがこうこうと照らされていました。まもなく家が教軒立ち並ぶようになり10年後には空き地だったところに新町小学校が出来て20年後には市営住宅が取り壊され東八道路が開通しました。

子供の頃は大人も子供も近所みんなで家族のように秋川にハイキングに行きました。高校を卒業し子供たちが社会に巣だっていくようになると、近所つき合いも少なくなり一緒に遊びに行くことはなくなりましたが、今でも何か困ったことが起きればすぐに相談できる近所さんがいるので安心して暮らしています。

これからもみんなが安心して暮らせるようにお役に立ちたいと思います。



みな がくしゅうしゃしょうかい 皆さんよろしく◇学習者紹介

カレン シエさん(ニュージーランド)



ぼうけん す 「冒険が好きです」

7・8月号で紹介したサイモン リュウさんの奥様です。昨年11月に来日し、聖徳学園の英語の先生をしています。

子供の頃見た日本の『カードキャプターさくら』というアニメで、日本に興味を持ち、高校時代に2年間日本語の勉強をしたとおっしゃるとおり、とても日本語が上手です。

オークランド大学では、ご主人と同じソフトウェアエンジニアリングを勉強しましたが、歳が4歳違うので、逢ったのは大学ではなくて教会でした。

日本の教会では「カルバリーチャペル府中」で子供達に英語で聖書や讃美歌を教えています。

日本の食べ物は和牛ステーキが大好きですが、高いので、ほとんど食べられません。夏にはそうめんをよく食べます。ニュージーランドではビーチで売っている fish and chips が好きで、英国と同じように、新聞紙にくるんでくれるそうです。

ご自分の性格は、何にでも興味を持ち、チャレンジする冒険好きとのこと。先日はコオロギなどの昆虫食を試しました。

将来はカフェを作り、そこでお客様と交流し、「神の愛」を伝えられたらいいなという夢もっています。

好きな日本語は「たっぷり」です。この響きが好きとおっしゃっています。(取材・文構成 堤 林)

こんな教え方しています

～ 5 ～

きんようよる かみしま やすこ
金曜夜ボランティア 上嶋 康子

毎回、学びと気づきをありがとうございます。

私は今までのボランティアの中で、気を付けていることや意識していることを書きたいと思います。

学習者が自分のテキストを持っている場合は、そのテキストで行います。テキストは途中からの場合が多いので、こちらはそのテキストのすべての課にひと通り目を通し勉強しておきます。ある程度、質問される内容(単語や文法に関して)を想定して解答を用意しておきますが、意外な質問が出てくるので、それは次回に答えるようにしています。授業の前日には、当日の流れを頭の中でイメージしています。そして終わった後は反省と次回に向けてまとめます。数字、曜日などは、なるべく学習者が発話できるように意識しています。テキストに出てくる言葉の使い方は、場面設定をしてロールプレイで練習をします。「です・ます形」で話すようにし、学習者が多く話ができるように気を付けています。自分がしゃべりすぎないことを意識しています。

学習者が日本語で自分のことを話したり説明をしたりすることは、学習者のどこに間違いがあるのかわかることにもなります。最近気になったのは学習者が「覚えます。覚えました。」を「思い出しました。」の意味で使っていたことでした。その方は「思い出した！」をアニメやドラマで聞くのだけれども意味がわからなかったと言っていました。

学習者に合わせて日本の日常や行事などを簡単に取り入れるようにしています。

私は外国語ができないので、スマホの画像や翻訳機能も使いながら示すようにしています。



新ボラさん こんにちは!

きょうじゅほうけんしゅう じゅこう あたら
教授法研修を受講された新しいボランティアの
かたがた じゅんじ しょうかい
方々をこのコーナーで順次ご紹介いたします。

「異文化コミュニケーションが楽しみ」

すいようご こやなぎ すすむ
水曜午後ボランティア 小柳 進

初めまして、私は2年前に早めのリタイア後この講座を受講したと思いましたが、コロナで延期となりこの度受講証明書を頂いた時は嬉しかったです。

日本に居ながら日本語で異文化コミュニケーションがとれることが楽しみです。そして、これから日本語ボランティアが始まる期待と多少の心配はありますが、持ち前の明るさで頑張りたいと思います。日本の良いところを伝えたく、他国の良いものも吸収したいです。

さて、縁ありまして数年前に府中に転居しました。府中は水が美味しく、また多摩川沿いを散歩していると川のせせらぎや小鳥のさえずり、遠くに富士山が見える等自然をたくさん発見できる大好きな街です。

そして私の趣味ですが、ゴルフ、囲碁、カラオケです。ゴルフは主に友人と茨城県でプレーし、大洗で海産物を買って求めます。囲碁は勝負にこだわらず楽しく打つことを心掛けています。これからもよろしく願いいたします。

「自己紹介」

げつようごぜん こやなぎ ともえ
月曜午前ボランティア 小柳 友江

初めまして、早速ですが私の趣味と言えば映画鑑賞かもしれません。

幼いころ映画好きの父に連れられて、時々西部劇

を観に行っただのが始まりです。まだ字幕も読めない私にとって映像と音だけでしたが、不思議な世界を体験できる場所でした。成長とともに内容も理解できるようになると、マカロニウエスタンのスターに初めてあがりました。中学生の私は彼と話したいと思い、一時イタリア語を学ぶ場所を探したことを思い出します。結局イタリア語は見つけられず、なんとか英語でファンレターを書いてブロマイド写真を受け取りました。非常に嬉しかったです。

そして40代の頃は香港スターに憧れ、ファン仲間と香港までコンサートや映画を観に行きました。しかし、現地の言葉はさっぱりわかりませんでした。そして、来日サイン会で一言だけ覚えた広東語で気持ちを伝えたのがいい思い出です。

結局語学は憧れのまま終わり、ひとつも話せないままです。しかし、これから日本語を使って海外の方々とコミュニケーションがとれるなら、こんな素敵なことはないと思い講座を受講いたしました。

どうぞよろしくお願ひいたします。

「外国の方に寄り添ってサポートしたい」

金曜夜ボランティア 田路 陸生

こんにちは！

私は3年前に府中市に戻ってきました。それまでずっと海外で過ごしていました。住んだ国はアメリカ、シンガポール、マレーシア、メキシコ、タイ、ベトナムです。30年程前の東南アジアはのんびりしていましたが、look eastで日本を手本にして活気がありました。

アメリカは広くて街ごとに文化があり、さすがだな～と思いました。メキシコはラテン系で楽しい人たちが一杯でした。タイ、ベトナムは日本人も多く住んでいる親日国で日本の古き良き昔が残っていました。すべての国でローカルの方たちに大変お世話になりました。

それぞれ違った食・生活文化はとても面白く

興味深いものばかりでした。帰国して何かお返ししたいと思っていたところ、縁があり今は府中市多文化共生センターDIVEで外国の方の支援をしています。

今回さらにより近くで外国の方の助けになりたいと思い、ボランティアに応募しました。自分自身が日本語を上手く使えているのかと心配ですが、学んだことを生かして、外国の方に寄り添って、外国の方が府中市で楽しく幸せに生活できるよう、習得のサポートをしていきたいと思っています。

9月からよろしくお願ひいたします。

「日本語が楽しいと思ってもらえたら…」

月曜午前ボランティア 安達 みゆき

はじめまして。9月からボランティアとして参加します安達みゆきと申します。

日本語ボランティアには以前から興味はあったのですが、研修会に参加できず、数年間待つことになりました。今年ようやく研修会に参加でき、活動を開始できることを大変うれしく思っています。

待ち望んだ研修でしたが、講座が進むにつれて、実際に自分が教える時にはどんな教材を用意してどう進めればいいのかと具体的に考え始めると、教えるのが大変難しいことのように感じられて不安になりました。しかし最も大切なことは、学習者の方に日本語を学ぶことを楽しいと思ってもらえることだと思いなおし、色々工夫して一緒に上達していけばいいと思うようになりました。

趣味は合気道です。合気道は試合のない武道で、争わず、相手と一体化して技をかけます。稽古すればするほど奥深さを感じます。

日本語を教えることも、やればやるほど課題を感じるだろうと思いますが、皆様と一緒に進歩していきたいと思ひます。

皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。



とう ころ 投◇稿



とうほく ひさいち めぐ たび こうへん 「東北の被災地を巡る旅」後編

きんようご ご たかみ まさあき
金曜午後ボランティア 鷹見 正昭

高速道路を下りて、新たに開設された「石巻南浜復興記念公園」へ向かう。震災の記憶と教訓を後世に伝える為に設立された「津波伝承館」に入り、語り部の方に説明をお願いする。

まずは、震災前と津波襲来直後の様子を航空写真で被災区域の説明を受ける。海辺の居住集落はすべてが流されて荒れ地と化したことが分かる。年老いた親を助けるために一旦家に戻った人。不自由な身体で避難出来なかった人。いろいろな事情で多くの方が帰らぬ人となってしまったことが手記から伺える。津波のスピードは早く、陸地に近づいてから一段とスピードアップする。走って逃げても逃げきれないと言う。逃げ惑う人が、あっという間に濁流に飲み込まれるさまは、まさに地獄の光景である。

この後、震災遺構として保存されている元「門脇小学校」へ移動する。あの日、地震発生と同時に、近くの日和山へ訓練通りに避難した児童・教職員は



かどわきしょうがっこうない
門脇小学校内

全員無事だった。そして、1時間後に大津波が襲来した。同時に津波火災が発生して校舎は炎に包まれた。まじかで見える校舎の内部は黒焦げで、無残な残骸と化している。椅子も机も全てがぐちゃぐちゃに損壊した教室内を見回る。この日は、今年採用された宮城県の教員の方が

大勢研修で訪れていた。各展示会場で終始無言のままメモをとる姿が印象的であった。

この後、日和山へ登る。あの日、北上川を遡上してくる津波を呆然と、この日和山から眺める市民の

姿を何度もTV映像で見た。今日、眼下に見る海辺は静かで平穏な風景だ。新しい建物があちらこちらに建てられている。

この後、むかし母が住んでいた街を廻る。震災後に道路も整備され、また商店街も新しく再建されている。昔の面影はない。半世紀以上も前とは様変わりした景色に変容していた。

翌日、南三陸町へ。まずは、「南三陸防災対策庁舎」跡を訪ねる。震災当日、町民に避難を放送で呼び掛け続けた建屋である。職員は最後に屋上に避難したが、その屋上を超える大津波が襲った。アンテナ塔に上り詰めた数名の方だけが助かったが、43名の方が犠牲になった痛ましい場所である。今は赤い鉄骨の骨組みだけが残っており、あの目を忍ばせる場所となっている。



ぼうさいたいさくちやうしや
防災対策庁舎

この後、陸前高田市へ向かう。まずは、「奇跡の一本松」を見に行く。あの日、松原を襲った大津波は、一瞬にして全ての松の木を根こそぎ倒してしまった。しかし、その中で一本だけ残った松が、今「奇跡の一本松」として観光客の目を引いている。震災前の風景を写真で見ると、白砂青松の風光明媚な浜辺で、広大な松原である。夏には多くの方が涼を求めて訪れたことだろう。



きせき いっぼんまつ
奇跡の一本松

そのあと、近くの「東日本大震災津波伝承館」を訪ねる。津波襲来の映像を見る。松原を覆いかぶさるように襲いかかる津波。家屋を呑み込む津波。逃げ惑う住民。どの映像も胸が締め付けられる。ド迫力の自然のパワーを目の当たりにして言葉が出ない。

「今は高い防潮堤が街を覆うように築かれた。これであの日と同規模の津波が来ても被害を大幅に減

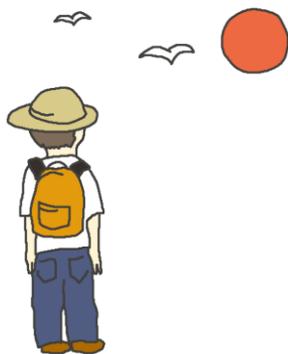
こうえつ こうせい
「校閲と校正」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

らすことが出来るだろう。しかし、あの日以上の
おおつなみ おそ 襲ってくるかも知れない。新たに築かれた
こうぞうぶつ 構造物を100%信じてはいけない。先ずは高台へ逃げ
ることが肝心だ。」と話す語り部氏の言葉は、二度と
あの日を繰り返さないために…。あの日の教訓とし
て胸に確と留めておきたい。

今回の旅は、福島・宮城・岩手三県の被災地を
いつかかんめぐ 5日間で巡った。被災された現地を訪れて、目の当
たりで見て、聞いて、改めて感じたことは、どのよ
うな悲惨な状況でも、生きて命をつなぐ気持ちを
持ち続けることが大切であると…。

そして、各地の復興事業は徐々にではあるが、進ん
でいると感じた。しかし、生活の糧となる事業が
被災地に根づくには、まだ歳月が必要と思う。一日も
早く復興が成就することを願いたい。



この夏休み、サスペンス小説を何冊か読みました
が、その中の、フリーの女性校閲者を主人公にした
『不審者』(伊岡瞬著・集英社刊)が面白く、よい暑
さ凌ぎになりました。流行作家の新作の校閲を任せ
られた主人公と、その作家の間に交わされるスリン
グなやり取りが、興味深く描かれています。

校閲とは、描写や内容の流れに矛盾がないか、あ
るいは事実関係に誤りがないか、また、文法・表記
の誤用や差別表現がないか等々、内容の整合性と
正当性をチェックしていく作業です。

一方、校正という作業もあります。内容をチェッ
クする校閲と違い、文章中に誤字や脱字がないか、
句読点の位置が正しいか、漏れがないか等々、文字を
チェックするのが校正作業です。

毎月発行しているサロンの会報誌『くろすろ〜ど』
でも、会報部会のスタッフと市が手分けをして校正
と校閲の作業に取り組んでいます。万全を期した
はずでも、発行後、読まれた方から、間違いを指摘さ
れることもあります。

ところで、私は映画宣伝の仕事を通して校正を覚
えました。映画の宣伝には、プレスシート(マスコ
ミ向けに解説と物語を書いたパンフレット)を作成
する仕事があり、その校正や、ポスター、チラシ、新聞
広告などの校正も担当します。

ミスはつきもので、今でも忘れられない失敗があ
ります。イギリス映画『午後の曳航』の新聞広告
(夕刊)でのこと。記載当日の朝、新聞社の広告局か
ら、原作者三島由紀夫の「紀」が「起」になってい
るとの連絡が入りました。こちらでの修正はすでに
間に合わず、新聞社のほうで修正をしてくれ、掲載
寸前のところで、恥をかかずに済みました。

先輩から教わった校正のコツは、「読んではダメ、
目を皿のようにして文字を見ること」でした。

みんなの広場

へんしゅうこうき
～編集後記～

「フチャールでの学習会の曜日と会場」

令和5年4月からのフチャールでの学習会は、市民協働推進部のご尽力により、今までと同じ曜日、同じ時間帯で実施出来ることが決まりました。

	月午前	月午後	水午後	金午後	金夜
第1週	会①	会①	会②	会①②	全室可
第2週	会①	会①	会②	会①②	全室可
第3週	会①	会①	会②	学①②	全室可
第4週	会①	会①	会②	学①②	全室可
第5週	会①	会①	会②	学①②	全室可

なお、金夜は下記のどの部屋でもとれます。

使用出来る部屋とその定員

会①	⇒	第一会議室	32名
会②	⇒	第二会議室	48名
学①	⇒	第一学習室	18名
学②	⇒	第二学習室	22名
学研	⇒	学研室	30名

「音声講習会のお知らせ」

9月15日から日本語教授法研修Ⅱが始まりましたが、その一環として音声講習会を下記の要領で実施いたします。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：10月29日（土）午後2時～4時

場所：サロン3階 会議室（日本語学習の部屋）

講師：中村則子 先生（早稲田大学講師）

対象：教授法研修Ⅱ受講者、現ボランティア、学習者

人数：ボランティアと学習者計25名（先着順）

申し込み方法：事務局の参加申し込み用紙に名前を記入してください。

*詳しいことは、サロン事務局にお問い合わせください。（研修部会）

9月から教授法研修Ⅰを終えられた新ボランティアさんが、現場に入って見学をしながら日本語の教育に取り組まれるようになっていきます。新ボランティアさんの話では、まだ自信がありませんとのことですが、最初はみんな同じような気持ちではなかったでしょうか。また、日本語を教える立場になってどういう教え方が良いか、学習者の反応から学び、自身も学習者と一緒に成長していきたいという話もありました。学習終了後、学習者から楽しかったという笑顔の言葉があり、新ボランティアさんも嬉しいと話していました。その様子から楽しい学習を心がけていきたいと再確認することができました。

新ボランティアさんの紹介原稿が掲載されていますが、「こんな教え方しています」の原稿も募集中です。教え方を紹介して情報を共有したいと思います。ぜひ、投稿をお願いいたします。（末田）



【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：堤 林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

